

白丹温泉館の再生に向けた民間提案(サウンディング型市場調査)の結果を公表します

竹田市では、現在休館している白丹温泉館について、今後の施設のあり方を検討するため、民間事業者、団体、個人等の皆さまから、施設の活用方法や運営方法などについて広くご意見・ご提案をいただく「サウンディング型市場調査」を実施しました。

今回の調査は、白丹温泉館の再開方法や運営方針を決定するものではなく、**民間事業者等の自由な発想や意見を伺い、今後の検討の参考とすることを目的として実施したものです。**

「現地説明会」や「個別対話等」を通じて、白丹温泉館だけでなく、白丹地区や久住地域全体の活性化につながる様々なご意見をいただきましたので、その概要をお知らせします。

多様な活用アイデアが寄せられました

施設の活用方法については、これまでの温泉施設としての役割を大切にしながら、新しい利用者を呼び込むための様々な提案がありました。

主なものとして、既存駐車場を利用した「車泊（RVパーク）」、周辺施設等を活用したキャンプ場、簡易サウナ、コワーキング、スリープツーリズムなど、温泉と滞在・体験を組み合わせる提案が寄せられました。

また、久住高原周辺のキャンプ場、ホテル、レストラン、農産物直売所などとの連携や、地域イベント、合宿、観光周遊など、白丹温泉館だけで完結させず、周辺の観光・地域資源と組み合わせて活用してはどうかという意見もありました。

地域の暮らしを支える温泉としての提案も

観光客を呼び込むだけでなく、白丹温泉館がこれまで果たしてきた「**地域住民の憩いと交流の場**」としての役割を大切にすべきとの意見も寄せられました。

市民・地域住民向け料金や回数券、スタンプカードの導入、以前行われていた高齢者の「寄り合い温泉」の復活、温泉館までの移動支援のほか、惣菜販売、キッチンカー、地域情報を紹介する掲示板など、日常生活に身近な施設として活用するアイデアが提案されています。

温泉館だけでなく、周辺施設との連携も

今回の調査では、白丹温泉館だけでなく、周辺の市公共施設などを組み合わせて活用してはどうかという意見も複数ありました。

例えば、周辺施設を合宿所等に活用し、利用者が白丹温泉館を利用することで、地域への滞在時間を延ばすという提案等です。

持続可能な運営に向けた意見

施設を再開した場合の運営については、設備の老朽化や燃料費・電気料金・人件費などを踏まえ、**行政と運営事業者の役割や修繕費の負担をあらかじめ明確にする必要がある**との意見がありました。

また、指定管理期間、指定管理料、料金設定などについて十分な収支検討を行うことや、無人受付・キャッシュレス決済などの導入によって運営負担を軽減することなども提案されています。

さらに、将来的なエネルギーコストを考え、木質バイオマスなど地域資源を活用したエネルギーの地産地消を検討してはどうかとの意見もありました。

今回寄せられた主な意見・提案

- 車泊（RV パーク）・キャンプ場などによる滞在型観光
- サウナ、スリープツーリズムなど温泉に新たな魅力を加える取組
- 久住高原の観光施設、宿泊施設、飲食店、直売所等との連携
- 周辺施設等との一体的な活用
- 市民・地域住民向け料金や「寄り合い温泉」など地域福祉との連携
- 農産物、惣菜、地域商品等の販売やキッチンカーの活用
- 合宿、イベント、地域スポーツ等による交流人口の拡大
- Wi-Fi、コワーキング、キャッシュレスなどデジタル環境の活用
- 木質バイオマス等を活用したエネルギーコスト低減
- 行政と民間の役割分担や修繕負担の明確化 など

※上記は、今回のサウンディング型市場調査等で寄せられた意見・提案を要約したものであり、竹田市として実施を決定したものではありません。

今後について

今回の調査を通じて、白丹温泉館について、温泉としての利用だけでなく、観光、地域交流、福祉、キャンプ・車泊、周辺施設との連携など、様々な可能性についてご意見をいただきました。

一方で、施設の再開には、設備の状態や改修費用、運営主体、運営経費、行政と民間の役割分担など、さらに整理・検討しなければならない課題があります。

竹田市では、今回いただいたご意見・ご提案を今後の白丹温泉館のあり方を検討するための参考資料の一つとして活用してまいります。

現時点において、施設の再開時期、運営方法、施設整備等について決定したものではありません。

ご提案、ご意見をお寄せいただいた皆さまに、改めてお礼申し上げます。

■お問い合わせ 竹田市久住支所 市民係 TEL:0974-76-1111